

い〜わ

河内の風



MARCH 2006

No.10

環境アニメイティッドやお 広報委員会 発行

3月は色々開催しました。



CONTENTS

目次

1

第25回 市民環境講座

みんなが住み続けたいまちづくり

2

エコ・エコ交流会&公開レクチャー

報告

3

環境アニメイティッドやお 情報

4



2ページ 第25回 市民環境講座

コーディネーター・パネリストの8名と参加者との大ラウンドテーブル！
みんなが住み続けたいまちづくりに向けて、どういう意見が繰り広げられたでしょうか。詳しくは、2頁をご覧ください！ (2006/3/12)

3ページ エコ・エコ交流会 & 公開レクチャー



今年度支援を受けた団体が、この1年の活動成果を発表しました！ (2006/03/18)

4ページ 環境アニメイティッドやお情報 ネットワーク交流会報告もかねて



環境アニメイティッドやおの今後の活動日程などをお知らせします。また先日のネットワーク交流会についてもご報告します。 (2006/03/19)

HP <http://www.eco-ani-yao.org/>
E-mail eco_ani_yao@hotmail.com

第25回 市民環境講座

「みんなが住み続けたいまちづくり」

～環境を意識して～

3月12日(土)午後2時から、府立八尾高等学校 ゆうかりホールにて第25回市民環境講座が開催されました。

最初に基調講演があり、「静岡県三島市における環境改善活動の取り組みについて」と題して、NPO 法人 グラウンドワーク三島 事務局長 渡辺豊博氏をお招きし講演していただきました。

★住みつづけたいまちにするには？

- ・ 市民が共有できる目標を明確にする
(キャッチフレーズ等)
- ・ 小さな活動から一歩ずつ積み重ねていく。
- ・ 自分たちで提言書を作る。
- ・ ネットワーク組織で協力関係を作る。

以上の点が重要であることをお話しいただきました。

次に渡辺氏にコーディネーターをお願いして、7名のパネリストによるパネルディスカッションが行われました。

まずパネリストに

1. それぞれの所属組織の活動や取り組みと課題について
2. パートナーシップを目指して
3. 環境教育をどのように推進していくのか

について話していただき、ディスカッションに入っていました。

問題点として多く出されたのが

- 環境を保全していこうにもごみの不法投棄がいっぱいである。
 - 組織と地元の住民との話し合いが上手くできていない。
 - 組織の後継者が育っていない。
 - 市民と行政との関係が上手く築けていない。
- ということでした。

★今後の課題として～住みつづけたいまちにするために

- ・ 具体的なテーマを決めよう
(ニッポンバラタナゴの保護、高安山再生計画等)
- ・ 地元とのネットワークを広げていこう
- ・ 高安山全体の保全に努めよう
- ・ 八尾市の環境政策と上手く手をつないでいこう



グラウンドワーク三島
事務局長 渡辺豊博氏



今回の講座を通して、住み続けたいまちにするには、市民一人一人が何をして何を変えたいのかを明確にし、共有した意識を持つことの大切さを感じました。また勉強会を開くなど地元の人達にも情報提供をし、お互いの理解を深めながらネットワーク作りを進めていく必要もあります。

(文責：広報委員会 奥本)

2005年度 エコ・エコー交流会 & 2006年度 公開レクチャー

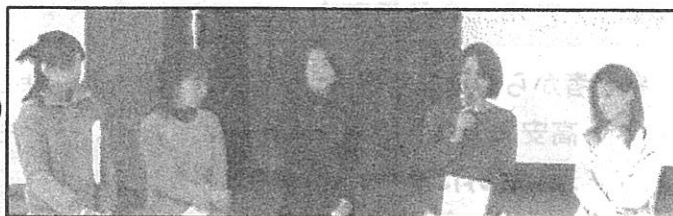
3月18日(土)午後2時から、八尾商工会議所3階講堂にて「環境保全活動支援事業成果発表会(エコ・エコー交流会)と事業説明会(公開レクチャー)」が開催されました。



写真①

活動発表には、以下の5団体に発表してもらいました。

- 緑の少年団「いちよう」(写真①)
- 畑で育て!!おひさまっこ♪子♪己♪. CO (写真②)
- エコスタイルグループ (写真④)
- NPO 法人 やお市民活動ネットワーク
- 親と子のいんた〜ねっと YAO (写真⑤)



写真②

現在の活動内容を中心に、発表していただき、その後、選考委員からの講評、参加者からの質問・感想などの時間を設けました。

2003年度公開プレゼンテーションで入選された、エコブック・ネットの川辺さんから、公開プレゼンテーションまでの準備や入選した後の活動内容などを発表していただきました(写真③)。



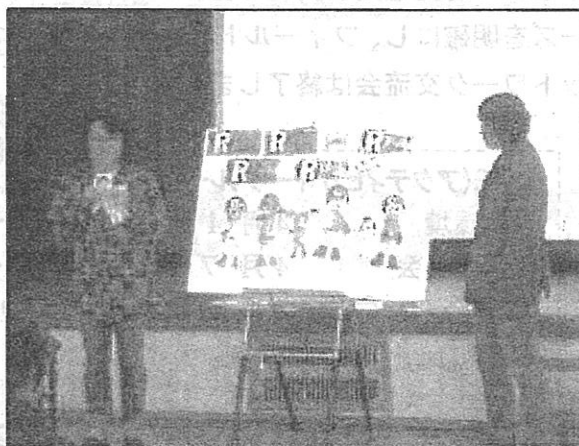
写真③

今回のレクチャーを糧に、来年度も応募団体が公開プレゼンテーションまでにどのように自分たちの活動企画・提案をプレゼンで表現したいのかを話し合い、素晴らしいプレゼンテーションになればと思いました。

(文責：広報委員会 西村)



写真④



写真⑤

2006年度も環境保全活動支援事業を実施します。
募集期間・公開プレゼンテーションなどの詳細は、次号以降に掲載いたします。

環境アニメイティッドやお 情報

3月19日(日)午後2時から、八尾商工会議所で「ネットワーク交流会(いきいき八尾環境フェスティバル2006 第1回 実行委員会)」が開催されました。

参加された団体等は次の通りです。

カンエイ産業(株)、丹陽社、株式会社庭樹園、エコライフスタイルグループ、(特活)河内四国県人会、曙川東地区福祉委員会、高美南小学校、大阪経済法科大学、FM ちゃお、八尾市清協労組、八尾市現業労組、個人(3名)、環境アニメイティッドやお

(所属を代表した参加ではない個人参加者もいらっしゃいます)

参加者からの意見や提案(見落としている点がありましたらご容赦下さい)

- ・ 高安山の里山でホタルを飛ばしたい。子どもや親が参加でき、ホタルが生息する環境づくりの取り組みになる。
- ・ 環境カルタづくりはいい提案、早く具体化する必要がある。
- ・ 八尾の食文化を発信することなど、わかりやすい取組にしなければならない。
- ・ イノブタ被害を利用して、イノブタ試食会を取り入れてはどうか。
- ・ 熱気球を上げて高安山や大阪市内を見学するイベントはどうか。
- ・ 前回の高校生環境サミットを継続しその充実を図ることもいいのではないか。
- ・ 高安山を「訪れたい」環境空間にするにはどうしたらいいかを考えたい。
- ・ 学校の教職員と地域がもっと交流する機会が求められている。
- ・ 大学の学生、教職員が参加し、地元の人をもっと参加できる工夫や仕掛けが必要だ。
- ・ 交通の不便さを考慮し、市内にリサイクル・バザーの場を設け、大阪経済法科大学との間をピストン・バスで繋いでどうか。
- ・ 環境なのか、観光(まちづくり)なのか分かりづらい問題がある。

コンセプトを明確に

以上の意見を踏まえ、今後「いきいき八尾環境フェスティバル2006」のコンセプトやキャッチフレーズを明確にし、フィールドやネットワークづくりを早急に具体化していくことを確認して、第1回ネットワーク交流会は終了しました。

<AG(アクティビティーグループ)>

自然環境	4月4日(火) 19:00~	
広報委員会	4月7日(金) 18:30~	つどい(八尾市市民活動支援ネットワークセンター)
エコツーリズム	4月14日(金) 18:30~	市役所本館 602 会議室

<環境アニメイティッドやお・第2回定期総会>

3月24日(金) 19:00~ 市役所本館 6階研修室

この1年間、色々と活動してきました。来年度もよろしくお祈りします!

